柳沢公民館

第18回　ロビーコンサート

今年度2回目のロビーコンサートを開催します。今回はお子様にも楽しめるマジック、思わず口ずさみたくなるコーラス、郷愁を誘うハーモニカの音色をお届けします。

▼と　き＝9月12日(土)19時～21時
▼ところ＝柳沢公民館
▼出　演＝
保谷ハーモニカ・アカデミー（曲目＝「おもいでのアルバム」「愛のままで…」他）
柳沢マジッククラブ（種目＝「ヒップ・ホップ・ラビット」「剣刺しカード」「水の変化」他）
ハーモニー（曲目＝「ゆりかごのうた」「中国地方の子守歌」「こもりうた」他）
※直接会場へお越しください。

柳沢公民館

ムービールーム柳沢

ところ　柳沢公民館　　定　員　100人（先着順）
申　込　当日、上映30分前から受付をします。直接視聴覚室までお越し下さい。
上映時間前の入場にご協力お願いします。

「人情紙風船」	「ナビィの恋」
（1937年）86分	（1999年）94分
9月9日（水）　14時～	9月25日（金）　19時～
監督：山中　貞雄	監督：中江裕司
出演：河原崎長十郎他	出演：平良とみ他

柳沢公民館

シニア対象講座

西東京の歴史を歩く　爽秋編

秋の西東京、新たな発見があなたを待っています。

▼とき・ところ＝別表のとおり10時～正午
▼対　象＝概ね60歳以上の市内在住の方
▼定　員＝15人
▼資料代＝100円
▼ガイド＝「道の会」（公民館利用サークル）会員、近辻喜一（文化財保護審議会委員）
▼申　込＝往復はがき
▼記入要領＝往信面の裏面に住所、氏名、年齢、電話番号。返信面は申込人の住所、氏名（敬称記入）、裏面は白紙。
はがきのあて先は〒202－0022　西東京市柳沢1－15－1　柳沢公民館事業係宛
＊1枚のはがきで、2人連記可
▼締　切＝9月8日(火)消印有効
＊応募多数の場合は、抽選

回	月　日	内　容	会場・訪問先
1	9/24（木）	クラス作り、講演「縄文人のくらしと下野谷遺跡」	郷土資料室
2	9/29（火）	歩く・第１回「田無・上保谷のルーツ」	谷戸町、住吉町、泉町
3	10/6（火）	歩く・第２回「宿場町田無の盛衰」	南町、田無町
4	10/13(火)	歩く・第３回「橋場と田無用水」	芝久保町、田無町
5	10/20(火)	歩く・第４回「新田開発と御門訴事件」	向台町、新町
6	10/27(火)	歩く・第５回「日蓮宗下保谷村」	下保谷、北町、住吉町、東町
7	11/3（火）	歩く・第６回「下野谷遺跡と戦争遺跡」	柳沢、東伏見

※雨天決行します。

柳沢公民館

外国人のための「生活に役立つ日本語講座」（保育あり）

“Useful Japanese for daily life” For Foreign Residents (provides child care)

为外国人开设的「实用日语讲座」（有托儿所）

외국인을 위한
『생활에 필요한 일본어강좌』 (탁아있음)

“Useful Japanese for daily life” Para sa mga Dayuhan (may taga-alaga ng bata)

柳沢公民館では、子育て中の外国人のお母さんのために日本語講座をひらいています。慣れない日本での生活に不安を感じている子育て中のお母さん。一緒に『にほんご』を学びませんか？
※詳しい日程・保育のことについては、柳沢公民館でお伝えします。
▼と　き＝9月18日から12月11日　毎週金曜日午前10時から12時
▼ところ＝柳沢公民館
▼対　象＝市内に住んでいる子育て中のお母さん
▼定　員＝15人（申込順）
▼保　育＝６ヶ月から学校に入る前まで　おやつ代１回50円
▼参加費＝無料
▼申　込＝9月３日（木）10時から柳沢公民館へFAX、または窓口で受け付けます。FAXは住所・名前・子供の名前と年齢・電話番号（連絡先）を書いてください。FAX464－8212
▼協　力＝西東京市多文化共生・国際交流センター

A Japanese Language Class will start at Yagisawa Kouminkan. This class is for foreign residents who feel uncomfortable to live in Japan with small children.
Let's study Japanese together!
※For more information about the schedule and child care service, please contact Yagisawa Kouminkan.
▼Date/Time: Starts on September 18th, ends on December 11th ; every Friday 10a.m.~12noon
▼Place: Yagisawa Kouminkan
▼Applicants: Foreign-resident mothers who have small children and also live in Nishitokyo city
▼Child care : from 6 months old to pre-school age　Snacks fee - 650yen
▼Lesson charge : free
▼How to apply : come to Yagisawa Kouminkan directly or FAX with your address, name, telephone number(or mobile number),your children's name and their age　You can apply from September 3rd (Thu) 10a.m.
FAX 464-8212 (Yagisawa Kouminkan)
▼Collaborated with Nishitokyo Multicultural and International Center (NIMIC)

柳沢公民館

お笑い講座　N-1グランプリ開催

西東京お笑い講座受講生によるお笑いコンテスト、M-1ならぬN-1。
地域の高校生や大学生たちが「お笑い」を競います。
練習の成果をぜひ、見に来てください。
▼と　き＝9月19日(土)14時～
▼ところ＝柳沢公民館
＊直接会場へお越しください

予告　田無公民館

保育付き　現代社会の子育てビジョン

みんなで学び、語り合います。子育てや教育問題に関心のある人集まれ！
▼10月13日(火)～２月23日(火)
10時～正午　全15回
詳しくは10月号で

公運審コラム

若者の足場の脆弱さと参画機会の必要性

公運審委員　萩原　健次郎

秋葉原無差別殺人事件に象徴されるような20代30代の若者による少年事件ならぬ〝若者事件〟というべき事件が相次いでいる。大学で普段から直接若者にかかわる者としても、こうした事態の背景として彼らの生活の「足場」の脆弱さを考えざるを得ない。

例えば、大学入学からの一ヶ月間でサークル入会のチャンスを逃がし、大学生活の足場をほぼ失い、代わりにアルバイトを居場所としてのめりこみ退学していくケースや、自宅にひきこもっていくケースもある。

見過ごせないのは、船底一枚下は海といった若者の足場の脆弱さが、一つの人間関係のこじれでも大きな挫折を意味し、立ち直りと社会参加を困難にさせてしまうことだ。一方、かつてのように家や学校以外のそこかしこに若者の自立的なたまり場があって、無意図的な援助装置として機能しているわけではない。

近年の若者事件の様相からも、彼らに「顔の見える関係があって信頼と寛容に支えられた場」が他にもあれば……と思うにつけ、若者の足場づくりを自覚的に支援する必要性を強く感じる。それには地域・社会にある社会資源を彼らの活動拠点として開放し、社会参画の機会があり、多様な社会資源につながっていける場が必要だ。そうした意味からも、公民館と社会教育活動の懐の深さに期待し、公運審委員としてかかわっていきたい。

公民館はサークル活動が芽を出す畑です（柳沢公民館利用者）